



# 北の里から

Vol.29  
Oct. 2016

獣医学科



動物資源科学科



生物環境科学科



## 公募制推薦入学試験がスタート！ 指定校制推薦入学試験

### 公募制推薦入学試験 募集学科・人員

|          |            |
|----------|------------|
| 獣医学科(※1) |            |
| A方式      | 10名(現役生のみ) |
| B方式      | 10名(一浪まで可) |
| 動物資源科学科  | 10名        |
| 生物環境科学科  | 5名(※2)     |

### 指定校制推薦入学試験 募集学科・人員

生物環境科学科 5名(※2)

10月3日  
Web出願START!出願はすべて  
Web出願から。  
詳細は裏表紙へ！(※1) 獣医学科はA方式・B方式をあわせて20名募集いたします。  
(※2) 生物環境科学科は公募制・指定校制をあわせて10名募集いたします。

いずれの入学試験とも入試手続き、日程等は以下のとおりです。

出願期間 平成28年11月1日(火)～11月11日(金)必着

試験日 平成28年11月20日(日)

試験会場 相模原キャンパス

# 学科TOPICS



## 獣医学科

### 学生生活の1ページ@十和田 米国三大学研修—ジョージア大学編—

8月13日から8月27日まで、海外研修でジョージア大学へ行ってきました。この研修では、大学附属の動物病院において、あらかじめ決められた受け入れ先の診療科に配属され、そこで獣医師の先生や学生と共に活動をしました。英語を喋るのが当然の環境の中で、しかも獣医師というスペシャリストの集団の中に放り込まれ、とても刺激的な体験になりました。

私が配属された診療科は小動物の内科でした。アメリカでは、学生が診察や検査などの診療活動をすることができます。これは日本との違いとして最も印象的でした。内科の学生们に連れられて実際に飼い主のいる診察現場を見学し、検査の手伝いなどをしました。そこで、症例に対してどのような処置をしていくのかを、学生自らが問診や検査所見から考えていくという現場を目の当たりにしました。

毎朝8時～9時はゼミがあり、テーマごとに専門の先生がいらして少人数で授業をしていました。ゼミは、先生が一方的に講義をするのではなく、学生に質問を投げ掛けながら話を進めていくというやり方で、学生たちも積極的に発言していました。これもまた、日本ではあまり見られない授業風景だったと思います。内容は5年前期に内科の授業で習ったことが多かったので、授業にはついていけたと思います。

研修全体を通して特徴的だったことは、向こうの学生们のコミュニケーション能力です。黙ったり、早々に「わかりません」と言って議論を止めたり、やり過ぎではなく、その時点で知り得ている情報からできる限りの可能性を考えて話を進めていくとする姿勢がとても印象に残りました。知識を詰めるのも必要だと思いますが、実際の仕事の現場ではコミュニケーションは欠かせません。このような姿勢を、今後の大学や就職後の学習にも参考にしたいと思いました。

(獣医学科5年生 小島新二郎・蜂谷信昭)



内科の診療室にて、内科の先生、学生たちと



ウサギの  
保定中



## 動物資源科学科

### 八雲牧場での体験実習 —動物生産の現場を実感—

去る8月と9月に、動物資源科学科2年生の牧場実習が行われました。これは、動物資源科学科2年生約135名を4班に分けて、3泊4日の日程で本学部附属フィールドサイエンスセンター(FSC)八雲牧場(北海道二海郡八雲町)にて宿泊実習を行うものです。

牧場実習の主な目的は、FSC八雲牧場における体験学習を通して、肉牛生産牧場での作業体系、作業機械・管理器具等の用途・取り扱い、家畜の管理法について学ぶとともに、資源循環型畜産の実践牧場である八雲牧場の特徴を理解することです。

主な実習内容は、子牛の除角・去勢、親雌牛からの採乳や放牧牛の追い込み、簡易電気牧柵の設置、牛の餌となる牧草の植生調査等です。学生たちは、牧場スタッフの指導・助言を得ながら、それぞれ自ら考え作業に取り組みました。それから、八雲町内で酪農業を経営している本学卒業生の佐藤正之さんから酪農経営の実際について講義を受け酪農について理解を深めることができました。加えて、講義の最後に牛乳の試飲(市販品3種類)と佐藤さんの牧場の自家製牛乳の計4種類を行い、佐藤さんの牧場の絞りたての牛乳が、市販の牛乳よりも濃厚な味であることに感動!の声が上がりました。また、講義翌日には実際に佐藤さんの牧場も見学しました。さらに、実習最終日には、3日間にわたり行った実習の理解度を計るための実習テストを行いました。残念ながら満点の点数をとった学生はおらず、「問題が意外に難しい」との声が聞かれました。

北海道の大自然の中、学生たちは目を輝かせながら生き生きと実習をしていたことからも、この八雲牧場実習は動物資源科学科の学生に対し高い教育効果をもたらしていることがうかがえます。



広大な牧場で牛と一緒に  
記念撮影



研修所食堂で、みんな一  
緒に「命」をいただきます



見学先の八雲町営公共牧場で



## 生物環境科学科

### 生物環境科学科実習に 行ってきました。

生物環境科学実習は、2年生を対象に、毎年7月、北海道函館市近郊に位置する北里大学獣医学部附属フィールドサイエンスセンター八雲牧場を中心に2泊3日で行なわれる。八雲牧場は、東京ドーム約50個分に相当する220haの放牧草地を持ち、外から飼料を一切持ち込まない循環型畜産を行っている。この広大な牧場で、学生は、五感を通した体験により講義・実習で学んだ専門知識に関する理解を深め、勉学意識を高めるとともに、人と生物と環境との関わりを学び、自然環境と調和した持続可能な社会のあり方を考える。

紙面の都合上、実習内容すべてを紹介することができないので、循環型畜産に関する実習から一部紹介したい。放牧草地を散策し、循環型畜産を学ぶ。厩肥の黒い塊が散在する放牧草地には、イネ科の牧草とマメ科の牧草(シロツメクサ)が育っている。シロツメクサを引き抜くと根の所々に直径数mmの顆粒を見つけることができる。これは根粒菌がいる証拠、根粒菌は大気中の窒素を固定してシロツメクサに渡し、その見返りにシロツメクサから炭素を受け取っている。この素晴らしい共生関係のおかげで、シロツメクサは四つ葉でなくとも牧場に幸運(窒素成分)を運んでくれている。肥料分の少ないこの牧場では、牛糞も大切な資源である。厩肥舎で牛糞の厩肥化過程を見学する。高く積まれた牛糞の山は、発酵熱で内部の温度が70°Cを超えることもある。厩肥の山の表面をシャベルで削ると湯気が立ち上り熱を感じる。この熱で病原菌が殺菌されるのだ。完熟した堆肥は臭くも汚くもない。学生も思わず手に取って割ったり、匂いを嗅いでいた。牛追い体験は、学生の一番人気の実習。4、5人でグループになって牛群を目的地まで移動させる時間を競う。こんなに牛に近づくのは初めてという学生も多い。思うように牛群が移動せず、成功した時はグループ全員で喜んだ。また、夜は、宿舎で友達といろいろな話で盛り上がり、絆を深めていたようだ。

広大な自然の中で行われる本実習は、学生たちからの評価も高い。生物環境科学科では、「人と野生動物が共に幸せに暮らせる環境づくり」に貢献できる人材の育成を目指しており、そのための知識と技術を教えている。夢にチカラを、好きにスキルを、がモットーである。



みんなで記念撮影

# 獣医学部TOPICS

## 市民参加による 医療面接実習を行いました。

7月21、22、25、26日の日程でのべ24名の一般市民の方々に模擬クライアントとして協力いただき、獣医学科5年生130名に医療面接実習を行いました。

病気の知識を知っているだけでは診療は成立しません。診療では症状に関する質問、検査結果などの説明、それらを踏まえた治療方針の相談などに加え、ペットの健康が損なわれたことによる心のケアに応じる必要までり、獣医師と飼主の方との間には高度なコミュニケーションが求められます。

獣医学科では、5年生のこの時点までにひととおりの病気の知識を習うとともに、コミュニケーションの理論、質問や説明の方法、ペッタロス等についても教育を受けています。その中で、学生同士が互いに獣医師役と飼い主役を演じるロールプレーも行っていますが、それをさらに一步進めて実施しているのが今回の医療面接実習で、教員監修のもと、学生それぞれが獣医師役となり、模擬クライアントの方々が飼い主役を演じます。

実習に協力してくださっている模擬クライアントの方々は、動物病院を訪れる飼い主を可能な限りリアルに演じ、獣医師役を演じた学生個々人の良かった点・悪かった点をみつけ出し、適切に指摘できるよう研修を受けています。学生たちにとって違う世代の方と接する機会自体が貴重な物ですが、自身の立ち居振る舞についてテラーメードのアドバイスをいただくことは、社会に出てからもそう多くないので、動物病院以外の職に就く学生にとっても重要な物となります(プライバシー保護のため、画像はぼかしています)。



医療面接実習の様子

## マハナコン工科大学 獣医学部研修生の来学

6月9日から7月8日まで、タイ王国マハナコン工科大学獣医学部5年生5名が本学に来訪され、引率教員のスカンヤ先生とともに4週間の研修を行いました。これでタイからの来訪は3回目になります。今年は北里からも5名の獣医学科5年生がタイを訪問します。

学生さんたちは主に小動物と大動物それぞれの病院で実習を行い、タイと日本との違いを体験しながら、本学の学生や教員と交流を深めています。タイでは犬や猫といった動物以外にフクロモモンガなど、タイならではの動物も多いとのことで、モモンガのブリーダーもしている1人の学生さんから、面白い話を聞きました。

研修期間のちょうど半分が過ぎたときに、大学事務OGの松田さんの指導により、華道と茶道と一緒に体験、満場一致の意見として「足がしびれた」が連呼されました。

今こそ日本の獣医療は高額医療機器も備えて、人医療並みの診療が行われつつあります。タイでも情熱に溢れた5人の学生さんたちを始め、これからその流れを作り出してくれることだと思います。

獣医師の根底はどこ国でも変わりません。若い学生たちが、国を飛び越えて同じ世界を学ぶ仲間を増やしてくれることを期待しています。



タイから来訪の学生たちを囲んで

### サッカー部



獣医学部3年生  
**村上凌**さん  
茨城県出身

### Club Activities

獣医学部北里会  
(体育会・文化会)



獣医学部サッカー部は現在部員44名、週3日練習に励んでいます。現在、十和田市サッカー協会のナイトサッカーリーグ1部と東北地区大学サッカー連(JUFA)に登録して活動しています。JUFAでは2部リーグに所属し、現在リーグ戦の真っ最中。5月には総理大臣杯の東北予選にも出場しました。個性豊かな部員たちはサッカーに対しては常に真剣、でも楽しむところも忘れておらず、メリハリが大事と考えています。先輩・後輩関係なく、BBQや釣り、スノボなど、サッカーを離れてても仲が良いところも獣医学部サッカー部の特徴です。

### 美術部



動物資源学科3年生  
**城島亞衣**さん  
東京都出身



15名が所属する美術部では、部員一人ひとりがイラスト、油彩、水彩、彫刻、アクセサリーなどさまざまなジャンルの作品制作に積極的にチャレンジしています。作品は、紅葉祭での作品展や写真部との共催の美写門展など、学内で年数回展示するほか、地域イベントではハロウィンフェスタのトールペインティングで作品を発表しています。また、十和田官庁街通りの方々と一緒に、街の活性化に取り組む活動も行っています。部員はみな、明るくまじめ。画材も揃っているので、興味のある方はぜひ、気軽に部室を訪ねてください!

出願は簡単  
3ステップ!

## STEP 1

### 出願情報の登録

## STEP 2

### 入学検定料の納入

## STEP 3

### 出願書類の提出

※STEP 2・3は同日であれば順序が前後してもかまいません。

#### 1 Web出願システムにアクセス

インターネットに接続されたパソコン・タブレット・スマートフォンからアクセスしてください。北里大学のホームページからもアクセスすることができます。



スマートフォン・タブレットから出願の方は右記QRコードからアクセスできます。

動作環境

• Windows7・8・10: Edge / Internet Explorer / Firefox 最新版  
• Mac OSX (10.2~): Safari 最新版  
• スマートフォン・タブレット iOS (9.0~)・Android OS (4.4~): 端末の基本ブラウザ  
• PDF表示・印刷ソフト: Adobe Acrobat Reader DC 最新版  
※EdgeやFirefox、Windows8.1標準搭載のPDFビューアは使用しないでください。

メールアドレスを登録するとメールが返信されますので、パスワードを登録してください。ユーザー登録が完了します。

パスワードとマイページに表示されるIDは、大切に管理してください。

#### 2 情報の入力

画面の案内に従って志望学部・学科(専攻)・試験などの出願内容を選択してください。出願期間内であれば併願可能な入試を同時に選択することができます。

続いて氏名・住所・電話などの情報を入力し、顔写真をアップロードしてください。個人情報登録ページからも事前に登録することができます。

個人情報入力画面



#### 3 入学検定料納入方法の選択

入学検定料の合計金額を確認の上、納入方法を選択してください。

クレジットカード コンビニエンスストア  
Pay-easy(ATM) ネットバンキング

クレジットカードは次の【④出願登録・印刷】時に支払いが完了します。コンビニエンスストア・Pay-easy(ATM)の場合は出願登録の後に店頭で納入することになります。ネットバンキングの場合は出願登録完了画面、またはマイページからネットバンクの支払い画面等にアクセスし、納入してください。

#### 4 出願登録・印刷

すべての登録内容を確認し正しければ出願登録を行ってください。正しく登録されると出願内容確認メールが届きます。

検定料の納入方法がコンビニエンスストア・Pay-easy(ATM)の場合には支払用受付番号を出願登録完了画面、またはマイページ内で確認してください。支払用受付番号は出願内容確認メールにも記載されています。

出願登録が完了したら、「入学志願票」「出願用宛名ラベル」をA4サイズで印刷し、書類の内容を十分確認してください。印刷はカラー白黒を問いません。

提出期間：出願受付期間内で出願締切日17:00必着

#### 受験票の印刷

必要書類の受理・入学検定料の入金が確認されると、登録されたメールアドレスに「受験票」発行の連絡を行います。マイページを確認し、受験票を印刷してください(受験票の記載内容を必ず確認してください)。なくさないように保管してください。

出願締切日から3日を過ぎても「受験票」発行のメールが届かない場合は、北里大学入学センターまでご連絡ください。

## シリーズ企画

### 十和田で会える動物たち

vol.5

青森県東部に広がる三本木原台地の中心地である十和田市に位置する「十和田キャンパス」。21haの附属農場には、北里大学ならではの珍しい動物たちがいます。シリーズ第5回目となる今号では「大ヨークシャー種」を紹介します。

#### ◆大ヨークシャー種

原産地はイギリス・ヨークシャー地方。体重が雌は340kg、雄では370kgにも達する大型の品種です。毛色は白色で、耳は根元から立ち上がった大きな立ち耳、顔にくぼみがあるのが特徴です。

比較的早熟で産子数も多く哺育能力に優れているため、日本を含め広く世界で飼育されています。肉豚生産では「雑種強勢(ヘテローラシス効果)」を利用する「三元交配」が主流ですが、繁殖能力の高い大ヨークシャー種は母豚を作るための主要な品種となっています。



「家畜審査論実習」のモデル(?)として実習でも大活躍!



大きな体に白い毛、そして立派な「立ち耳」が特徴です

【クイズ】北里大学獣医学部附属フィールドサイエンスセンター八雲牧場は東京ドーム〇〇個分に相当する?

【賞品】正解された方の中から、抽選で30名の方に北里大学オリジナルポロシャツをプレゼント!!  
メールにて応募を受け付けます。

【応募方法】件名：クイズ

本文：クイズの答え・郵便番号・住所・氏名・電話番号・在籍学校名・学年・本学部で興味のある学科名・ポロシャツのサイズ(M・L)を記入の上、ご送信ください。  
※ポロシャツのサイズに記載のない方はMサイズとさせていただきます。  
※デザインは選べません。また、変更になることがあります。

【応募締切】平成28年11月末日

【応募先メールアドレス】koho@vmas.kitasato-u.ac.jp

【当選発表】発送をもちまして当選発表とさせていただきます。



ポロシャツのサイズは「M」「L」の2種類